

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	671300333
法人名	医療法人社団みゆき会
事業所名	グループホーム笑顔
訪問調査日	平成 20 年 11 月 20 日
評価確定日	平成 21 年 1 月 7 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月24日

【評価実施概要】

事業所番号	671300333		
法人名	医療法人社団みゆき会		
事業所名	グループホーム笑顔		
所在地 (電話番号)	山形県上山市弁天二丁目2番45号 (電話) 023-672-8510		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年11月20日	評価確定日	平成21年1月7日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 27 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 9 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 14.42 人	

(2) 建物概要

建物形態	○併設/単独	新築/改築
建物構造	木造平屋造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000(他実費) 円
敷金	有() 円 無○		
保証金の有無 (入居一時金含む)	○有(50,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/○無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.8 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団みゆき会 みゆき会病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

敷地内には同じ法人が運営している病院、老人保健施設、通所リハビリテーション事業所が併設されており、緊急時の対応や行事への参加、勉強会開催などの協力体制が整えられています。
また、ホームと同じ敷地内の施設にはボランティアが毎月訪れ、利用者が合唱や昔話、ギター演奏会に参加したり、ちぎり絵やトランプを楽しんだりしている、笑顔がある明るいホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価後、「ご飯」に加え「味噌汁」と「漬物」もホームで調理するようになったが、おかずは委託業者で準備した調理済みのものをホームで盛り付けている。また、利用者と一緒に食事はせずに、職員1名が利用者の食事介助や見守りを行い、他の職員は休憩に入っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>① 評価の意義が管理者から職員に説明されており、職員2~3人ずつ分担して自己評価を行い、管理者が一つにまとめたものが回覧されている。また、前回評価での改善課題については、「食事を楽しむことのできる支援」を除いて改善されている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では評価や避難訓練の報告、重度化に対する不安への回答などをテーマとして、2ヶ月ごと開催されている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱の設置、面会時の声かけ、運営推進会議への報告、玄関への掲示、意見を反映した勉強会の開催が行われており、また、今後は月刊誌への掲載にも取り組もうとしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>法人全体の夏祭りや文化祭の場で、たくさんの地元の人々と交流できており、また、手作り作品を小学校や保育園に寄付することについても、検討が進められている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合い、地域密着型サービスとしての理念を三つの項目に整理して作り上げている。		
		○理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関や事務所の見やすい所に理念を掲示したり、カンファレンスや申し送りの中で話し合い、その実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人全体の夏祭りや文化祭の場で、たくさんの地元の人々と交流できており、また、手作り作品を小学校や保育園に寄付することについても、検討が進められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義が管理者から職員に説明されており、職員2~3人ずつ分担して自己評価を行い、管理者が一つにまとめたものが回覧されている。また、前回評価での改善課題については、「食事を楽しむことのできる支援」を除いて改善されている。		
		○運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では評価や避難訓練の報告、重度化に対する不安への回答などをテーマとして、2ヶ月ごと開催されている。		

山形県 グループホーム笑顔

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市のサービス調整連絡会議に参加しており、地域交流についての相談などがなされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月刊誌(職員の異動を記載)と個別に書いた暮らしぶりのお手紙(写真添付)が、請求書と共に毎月家族に送られている。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱の設置、面会時の声かけ、運営推進会議への報告、玄関への掲示、意見を反映した勉強会の開催が行われており、また、今後は月刊誌への掲載にも取り組もうとしている。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	2ユニットのリビングが隣同士であるため、2つのユニットの職員と利用者が互いに顔馴染みの関係にある。また、職員異動の際には1名多い職員体制をとるようにして、利用者への影響やダメージを防ぐようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	県や市のグループホーム連絡協議会の研修に職員が段階に応じて参加できており、報告書の回覧や会議での報告によって内容の共有が図られている。また、ストレスや身体拘束などについての独自の勉強会も行われている。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	県や市のグループホーム連絡協議会に参加しており、交換実習も行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除、畑仕事、梅干しや干し柿作りを一緒に行い、利用者から職員が昔の話も引き出しながらか、共に支えあう関係ができるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員から利用者への話かけがよく行われており、本人の意向をキャッチして、買い物や温泉に出かけている。また、困難な場合には、家族や日々の関わりから得られた情報をもとにして検討されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見を取り入れた検討会が開かれており、「みんなと楽しく過ごしたい」という利用者については、レクリエーションをより多く取り入れた介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに評価や見直しを行っており、「できること」が増えてきた利用者には、「自室の掃除」を日課に組み入れてみるなど、現状に即した介護計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医に家族や職員が 付き添って受診できており、状態変化があった場合は 電話連絡が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	本人や家族の意向を踏まえ、医師や医療機関の相談 員も含めた話し合いが行われており、全員で方針を共 有するようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	プライバシー保護についての学習会を行って理解を深 めており、また、個人記録は事務所で保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、入浴などの場面で、利用者一人ひとりの ペースに添った支援が行われている。		

山形県 グループホーム笑顔

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	前回の評価後、「ご飯」に加え「味噌汁」と「漬物」もホームで調理するようになったが、おかずは委託業者で準備した調理済みのものをホームで盛り付けている。また、利用者と一緒に食事はせずに、職員1名が利用者の食事介助や見守りを行い、他の職員は休憩に入っている。	○	日々の食事一連の作業を利用者と職員がともに行い、また、一緒に同じ食事を味わいながら、利用者にとって食事がより楽しいものになるような取り組みを引き続き期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	菖蒲湯、ゆず湯、施設内の温泉利用など、入浴を楽しむことができるよう支援されており、また、車いす利用者でも施設内のリフト浴での入浴ができています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗い、食器拭き、裁縫、水かけ、散歩、トランプなど、それぞれが役割や楽しみごとを持てるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、ドライブ、敷地内の足湯など、その日の希望に合わせた日常的な外出支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	一時的に施錠をする場面もあるが、目配りと見守りにより、通常は施錠をせずに過ごすことができている。また、身体拘束についての勉強会も実施されており、その弊害の理解もなされている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人合同の年2回の防災訓練や事業所内で消火訓練が行われており、また、災害時には同じ敷地内にある他の施設からの協力を得られる体制も整えられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取表への記入、管理栄養士からのアドバイス、利用者一人ひとりの嗜好への配慮など、栄養摂取と水分確保の支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	折り紙、ちぎり絵、ツリー、門松など、利用者の作品が飾られた季節感のある開放的な空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	のれん、箆笥、テレビ、冷蔵庫など、使い慣れたものが持ち込まれ、居心地よく過ごせる個人の空間となっている。		